

1978・5 NO.135 Vol.12 NO.5

●昭和53年3月20日印刷

●昭和53年5月1日発行

●編集・発行者 竹島紀元

●編集スタッフ

塚本雅啓／松尾定行／宮原正和
日比 彰／沖 勝則

●アートディレクト 岡田徹也

●発行所

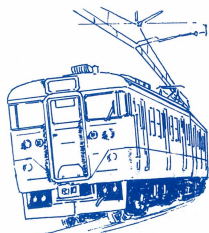
(株) 鉄道ジャーナル社

〒102 東京都千代田区飯田橋4-8-6

日産ビル 電話03(264)1891・1892

振替口座 東京 9-82820

●印刷所 凸版印刷株式会社



肝心の商品＝輸送力のストックが
きかないことが輸送サービスを
使命とする鉄道の泣きどころであるが、その象徴的な落とし子が国鉄で「近郊形」とよばれる一群の車両たちではないだろうか。疲れない旅を提供する長距離列車では快適な特急形車両や寝台車が主役となり、快適さよりも輸送力が要求される通勤輸送には定員を多くした通勤形車両が活躍している。この両者は本来の使用目的が比較的是っきりしているため車内設備は輸送使命に合致した設計になっており、運用も特急列車あるいは通勤列車に限定されている。

しかし実際に鉄道輸送のかなりの分野を占めているのは都市近郊の短距離輸送。あるいは地方都市を結ぶ中距離輸送であり、これにあてて目的で運転されている列車—急行・快速・近郊の各列車の主力となっているのが、急行形車両と近郊形車両である。これらはかつて鉄道車両の標準の車両であったが、現在は華やかな特急形や日常的な通勤形の陰にかくれて地味な存在になりつつある。急行形・近郊形ともに多目的車両であるため広範な用途に適合した設備サービスを望むのは無理かもしれないが、現代にふさわしい大衆車に育てる努力をつづけてほしいと思う。

定価530円
〒60円

1978-5

もくじ

- 7 レールウェイ・レビュー 「特急、時代の曲がり角」
- 8 ニュース・ファイル(国鉄・私鉄・海外鉄道の動き)
- 13 車両基地

シリーズ・日本の鉄道⑤

15 岡山・吉備路

青木栄一／小川憲一
沖 勝則

●特集 鉄路の名ワキ役—近郊形車両

32 生活を運んで半世紀 鉄道ジャーナル調査部

鉄道車両「系列、シリーズ⑤

44 国鉄新性能近郊形電車の一族 編集部

62 セミクロスシート雑感 高林盛久

新・RJメカニズム⑤

66 勾配抑速ブレーキ

「近郊形」の新しいグループ—

ドキュメント★列車追跡②①

68 信濃路の雪をけたてて 島 蒼司

76 417系交直流電車が颯爽と登場 松田清宏

80 名古屋鉄道6600系がデビュー 徳田耕一

82 「近郊形」気動車 フレッシュトリオ 真野 竝

87 国鉄運賃の変遷と決まりかた(下) 種村直樹

レールウェイ・トピックス

92 ミジェット燃料輸送、一番列車 走る!

93 地下鉄東西線電車 竜巻で脱線転覆

110 小田急⇄営団の相互直通運転がスタート 小泉準三

123 〈あさかぜ〉20年目の転進 編集部

94 山峡の白い動脈 秩父鉄道 本島三良

102 ポスターと書物のドラマ⑤ 佐々木桔梗

新・ヨーロッパの鉄道-5

104 ドイツの鉄道の光と影(後) 山之内秀一郎

112 トップ・アングル

115 てつどう・ざつがく⑤ 居心地のよい旅客車 本島三良

124 パキスタンの交通事情② 安沢 明

131 タブレット

134 次号予告／ジャーナル編集室／乗務員室

ブルー・トレイン

◆ワイドレンズ(116)◆RJクイズ／鉄道友の会だより(117)◆鉄道記事ざっくばらん／魚眼(118)◆Q&A／ズームレンズ(119)◆書評／新刊紹介(120)◆外国雑誌紹介／伝言板(121)◆読者論壇(122)

表紙／商都を駆ける——カメラ・編集部